

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0810
施設名	中神保育園
施設所在地	東京都昭島市朝日町5-4-17
法人名	社会福祉法人多摩育児会中神保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

匂いはどこから来るの？

<テーマの設定理由>

朝の支度をする際、「甘い匂いがする」と言った4歳児がいた。「キンモクセイの匂いだね」と伝え、「キンモクセイって何？」と質問があったので、実際にキンモクセイの木を切って、花の匂いを体験する活動を準備した。

2. 活動スケジュール

- ・木の観察（周りから見る）
- ・保育者が切った枝から、花を見つけて匂いをかぐ
- ・花を集めて、布染め体験をする

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・脚立
- ・剪定ばさみ
- ・トレイ
- ・ビニール袋

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・金木犀からする匂いに気付く。
- ・金木犀を伐採し、花の紹介する。
- ・園の行事の「収穫祭」で花染め体験を行い、その準備として花を摘み、トレイに集める。
- ・花びらの香りや色などを観察する。
- ・蒸し染めを行う。
- ・出来た蒸し染めを観察する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・「甘い匂いがする」と子どものつぶやきがあった。
- ・「キンモクセイだね」という名前の紹介と、実際に木を剪定しながら、花を間近で見られる体験をした。
- ・木から花のみ摘むのを子どもに任せ、トレイやビニール袋に集めてもらった。
- ・時折手の匂いを嗅ぎ、「甘い匂い！」と言う子どももいた。
- ・花が小さく、1本の枝にたくさんついていることに気づき、「めっちゃいっぱい！」と花を集める大変さに驚く子どももいた。
- ・花を集めるにつれて、枝が葉のみになると、木を指さしながら、剪定している保育者に「ここにもあるよ!」、「もっと高いところに花がたくさんあるよ」と一緒に探す姿も見られた。
- ・花を摘んだ後、「収穫祭」の花の蒸し染めでキンモクセイも使用したが、上手く着色できず茶色い仕上がりになった。また、2歳児にも花を分け、ビニール袋の中で水と花をもみ込んで色水づくりも紹介した。
- ・翌日から、1週間程度満開の時期が続いたが、朝登園すると「キンモクセイの匂いがするね」、「キンモクセイが咲いているね」など、子ども達の会話の中に、花の名前が聞こえるようになった。
- ・キンモクセイに気付いた子どもの中には、その後園内の花を見て、「あれは何のお花?」、「これは何の匂い?」と聞く姿が増えたが、全ての花の名前を保育者が把握しているわけではなかったため、一緒に図鑑を見ながら探したり、名前を知っている保育者に聞きに行ったりするなど、その後も植物に興味が続くよう誘いかけた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

現在の年長児が0歳児の頃から、キンモクセイは園庭の通りの多い場所にあり、毎年咲いて匂いがしていたが、秋の満開の時期にしか意識が行かず、名前を紹介する機会も少なかったことから、「甘い匂いがする」という子どもの言葉をきっかけに、紹介するチャンスを作ることができた。何気ない子どものつぶやきも、活動の機会になるので、今後もつぶやきを聞き逃さないように努めると共に、園庭にある植物にさらに興味が向かうよう、様々な活動と植物を掛け合わせて活動を楽しめるよう工夫していきたい。